

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科に、待機的PCI治療者でリハビリテーション歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

待機的PCI治療患者における腎機能が及ぼす影響

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 理学療法士 清水 和也

3. 研究の目的

腎機能の重症度分類ごとに栄養、身体機能、運動習慣やカテーテル治療歴を把握することで、腎機能障害が及ぼす影響、また腎機能障害を及ぼす因子を明らかにしていく一歩となり、腎機能障害の進行を予防するための一助となり、患者が安心して最善の治療を受けるための一助となる。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

狭心症の患者さんで、平成29年4月1日から平成29年12月31日までの期間中に、狭心症に対して冠動脈カテーテルインターベンションを実施するために入院しリハビリテーションを受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、体組成、歩行速度、バランス機能、筋力に関する情報です。

(3) 方法

カルテより情報を収集し腎機能を重症度分類にて3群に分け、サルコペニア(AGWSの診断基準)・フレイル(SPPB<9)有病率、基本情報、身体機能、体組成、カテーテル治療歴を比較検討しました。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曽部町1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 理学療法士 清水和也

TEL: 072-681-3801 FAX: 072-682-3834 E-mail: inoue.tomoya@aijinkai-group.com